


**1. 建物概要**

建物名称	富士宮市営万野住宅建設工事E棟	BEE	1.5	BEEランク	A	★★★★
------	-----------------	-----	-----	--------	---	------

**2. 重点項目への取組み度**

重点項目	得点*/満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.6	/5	ふつう
"災害に強いしづおか"の形成 (Disaster)	2.8	/5	がんばろう
"しづおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.3	/5	がんばろう
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.5	/5	がんばろう
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)	評価	凡例 よい 4 点以上	ふつう 3 点以上
			がんばろう 3 点未満

**3. 重点項目についての環境配慮概要**

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。		内訳対応項目								
<b>"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)</b>		得点			3.6					
■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ④内装は維持管理がしやすく更新間隔が長い材を使用。 ④配管は更新間隔が長い材を使用。		Q-1 2 2.1 2.1.2 ① 外皮性能 Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 昼光利用設備 3.2 3.2.1 ③ 昼光制御 Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 車体材料の耐用年数 2.2.2 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 2.2.3 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 2.2.4 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 2.2.5 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 2.2.6 ④ 主要設備機器の更新必要間隔								
■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤敷地内既存大景木の建物廻り再配置により外構緑地指數50%以上を確保した。 ⑥緑地の緑が連続するような外構植栽計画を行った。		Q-3 1 ⑤ 生物環境の保全と創出 3 3.2 ⑥ 敷地内温熱環境の向上								
■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑧太陽光発電システムによるエネルギーの利用。 ⑨LED照明の採用。高効率空調機の導入。		LR-1 1 ⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 2 ⑧ 自然エネルギー利用 3 ⑨ 設備システムの高効率化 4 4.1 ⑩ モニタリング 4.2 ⑩ 運用管理体制								
■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪節水型機器を採用 ⑫内装はリサイクル材を採用するよう配慮した。 ⑬有害物質を含まない材料を選択するよう配慮した。		LR-2 1 1.1 ⑪ 節水 1.2 1.2.1 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 1.2.2 ⑪ 雜排水等利用システム導入の有無 2 2.1 ⑫ 材料使用量の削減 2.2 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 2.3 ⑫ 車体材料におけるリサイクル材の使用 2.4 ⑫ 車体材料以外におけるリサイクル材の使用 2.5 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 2.6 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み 3 3.1 ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 3.2 3.2.1 ⑬ 消火剤 3.2.2 ⑬ 断熱材 3.2.3 ⑬ 冷媒								
■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑮気象データを用いて風環境に配慮し、隣棟間隔指数を0.5以上とした。		LR-3 1 ⑭ 地球温暖化への配慮 2 2.2 ⑮ 温熱環境悪化の改善								
<b>"災害に強いしづおか"の形成(Disaster)</b>		得点			2.8					
■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)		Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 耐震性 2.1.2 ⑯ 免震・制振性能 2.4 2.4.1 ⑰ 空調・換気設備 2.4.2 ⑰ 給排水・衛生設備 2.4.3 ⑰ 電気設備 2.4.4 ⑰ 機械・配管支持方法 2.4.5 ⑰ 通信・情報設備								
<b>"しづおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)</b>		得点			2.3					
■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑱パリアフリー法誘導基準相当の計画とした。		Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑲ ⑲ ユニバーサルデザイン計画 3 3.1 3.1.1 ⑳ ⑳ 階高のゆとり 3.1.2 ⑳ ⑳ 空間の形状・自由さ								
■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)		Q-3 3 3.1 ㉑ 地域性への配慮、快適性の向上								
<b>"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)</b>		得点			2.5					
■室外環境(敷地内)対策 (㉒生物環境の保全と創出/㉓まちなみ・景観への配慮/㉔敷地内温熱環境の向上) ⑤敷地内既存大景木の建物廻り再配置により外構緑地指數50%以上を確保した。 ⑥緑地の緑が連続するような外構植栽計画を行った。		Q-3 1 ⑤ 生物環境の保全と創出 2 ⑥ まちなみ・景観への配慮 3 3.2 ㉔ 敷地内温熱環境の向上								
■敷地外環境対策 (㉕持続可能な森林から産出された木材/㉖温熱環境悪化の改善) ⑮緑地被覆面積を50%以上とした。		LR-2 2 2.5 ㉕ 持続可能な森林から産出された木材 LR-3 2 2.2 ㉖ 温熱環境悪化の改善								